

平成28年度京田辺市一般会計予算

○ 概要

平成28年度一般会計当初予算は、本市が目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向けて、明るい京田辺の未来をつくる事業を計上したことから、予算総額は当初予算としては過去最大となる239億3,000万円となった。

また、国の地方創生等を含めた補正予算に対応して平成27年度補正予算に前倒しで計上したものを含めた予算額は241億8,300万円となった。

○ 特徴

平成28年度予算においては、「未来のふるさと京田辺の創造」を基本理念に、「安全・安心」「緑」「健康」「文化・教育」「田園都市」の5つのキーワードに沿った各種事業を中心に予算を配分した。

主な事業として、「安全・安心」では高機能消防指令システム更新事業、「緑」では遊歩道整備事業（松井山手～大住地区）、「健康」からは「(仮称)駅前サポートセンター」関連事業、「文化・教育」として「文化コーディネーター」配置事業、「田園都市」として複合型公共施設機能（文化・行政）検討事業などそれぞれの分野に必要な予算を盛り込んだ。

平成28年度は第3次総合計画の後期基本計画となる「まちづくりプラン」のスタートの年となることから、防災対策や子育て支援など即効性のある事業はもちろんのこと、市の将来的な発展を見据え、市民生活の向上に資する施策を予算に反映している。

また、国では地方創生を重点課題として、地域の自主性・主体性を最大限発揮できる環境整備が進められている。本市においては、平成28年5月開催予定の「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージ開催事業や、近鉄新田辺駅西口での駅ナカ京田辺魅力発信事業など地域の持つ強みを活かした各種施策について、「地方版総合戦略」に基づき平成27年度補正予算に前倒しで計上した。

さらにこれらの施策を進めるために、経常経費が増大する厳しい財政状況の中、自主財源の確保、事務事業の効率化や適正化等の取り組みを予算に反映した。

○ 「5つのキーワード」別事業 (新 … 新規事業 拡 … 拡充事業)

1 「安全・安心」 ～絆による安全・安心、減災～

・ 避難所運営個別地区マニュアル策定事業	2,246 千円
・ 防災士資格取得事業	528 千円
・ 地域版防災マップ（土砂災害）策定事業	3,456 千円
新 建築物耐震改修促進計画改定事業	5,000 千円
新 市営住宅長寿命化事業	153,900 千円
・ ため池ハザードマップ策定事業	2,600 千円
・ 耐震性防火水槽整備事業	29,020 千円
新 高機能消防指令システム更新事業	6,222 千円
新 消防指揮隊車整備事業	11,177 千円

2 「緑」 ～緑豊かなエコタウンの推進～

新 道路照明灯LED化事業	18,100 千円
新 遊歩道整備事業（松井山手～大住地区）	1,000 千円
・ 水辺の散策路等環境整備事業	4,000 千円
新 雨水タンク設置促進事業	3,000 千円
新 容器プラスチック分別処理事業	7,776 千円
新 可燃ごみ広域処理施設整備事業	35,490 千円

3 「健康」 ～いきいき健幸・子育て支援～

新 「（仮称）駅前サポートセンター」関連事業	11,092 千円
新 “京田辺発” 健幸レシピ作成事業	1,170 千円
拡 学習支援事業	2,496 千円
拡 日常生活用具給付事業	18,952 千円
拡 高等技能訓練・自立支援教育訓練給付事業	1,200 千円
新 みなし寡婦（夫）控除事業	— 千円
新 一時的保育事業利用料多子軽減事業	— 千円

4 「文化・教育」 ～学び・文化のネットワーク創造～

新	「文化コーディネーター」配置事業	3,079千円
新	文化芸術ポータルサイト開設事業	1,000千円
新	学校図書館データベース構築事業	466千円
新	京田辺お茶育事業	702千円
	・ 三山木小学校増築事業	699,114千円
新	中学校昼食等検討委員会設置事業	520千円

5 「田園都市」 ～魅力あるコンパクトシティの推進～

新	複合型公共施設機能（文化・行政）検討事業	7,500千円
新	「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージ開催事業	10,729千円
新	木津川サイクリングロード広域連携事業	2,600千円
新	「お茶の京都」推進事業（茶園風植栽等設置）	1,000千円
	・ 企業PR展（シゴトニア☆京田辺）開催事業	350千円
新	「(仮称)お茶の京都振興会社(DMO)」設立事業	2,680千円
新	古寺めぐり事業	2,500千円
新	駅ナカ京田辺魅力発信事業	6,288千円
新	京田辺市茶（玉露・てん茶）消費拡大事業	3,500千円

※ 地方創生関連予算等（再掲）

	・ 防災士資格取得事業	528千円
	・ 地域版防災マップ（土砂災害）策定事業	3,456千円
	・ 京田辺お茶育事業	702千円
	・ 「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージ開催事業	10,729千円
	・ 木津川サイクリングロード広域連携事業	2,600千円
	・ 「お茶の京都」推進事業（茶園風植栽等設置）	1,000千円
	・ 「(仮称)お茶の京都振興会社(DMO)」設立事業	2,680千円
	・ 古寺めぐり事業	2,500千円
	・ 駅ナカ京田辺魅力発信事業	6,288千円
	・ 京田辺市茶（玉露・てん茶）消費拡大事業	3,500千円

○ 主な歳入

- ・市税は、市民税の増等により、
3億2千294万円（3.2%）の増
- ・地方消費税交付金は、交付金の増等により、
1億1千700万円（11.1%）の増
- ・財産収入は、市有地売却代の減等により、
1億1千643万円（46.9%）の減
- ・市債は、教育債の減等により、
3億4千680万円（15.7%）の減

○ 主な歳出（目的別）

- ・民生費は、保育所施設型給付費の増等により
4億9千364万円（5.5%）の増
- ・土木費は、市営住宅建設費の増等により、
4億2千392万円（18.4%）の増
- ・教育費は、三山木小学校増築事業費の減等により、
7億1千618万円（18.1%）の減

○ 主な歳出（性質別）

- ・扶助費は、保育所施設型給付費の増等により
2億9千164万円（5.2%）の増
- ・物件費は、電算化管理経費の増等により、
1億588万円（2.8%）の増
- ・繰出金は、国保特会繰出金の増等により、
2億1千193万円（10.3%）の増
- ・建設事業費は、三山木小学校増築事業費の減等により
4億1千4万円（17.7%）の減